



大分県内における景観の特性と広域景観計画に関する研究



景観法（平成17年6月全面施行）



景観を取り巻く環境に変化



- ・ 地域景観に関する意識と理解
- ・ 個性ある景観づくりに対する意欲

景観法活用の促進と県内景観の魅力を向上させる

■大分県全域における景観の研究

■特定地域における景観の研究



- ・ 地域景観に関する意識と理解
- ・ 個性ある景観づくりに対する意欲

景観法活用の促進と県内景観の魅力を向上させる

■大分県全域における景観の研究

■特定地域における景観の研究



沿道景観保全地区 4地区
 沿道環境美化地区 12路線

「大分県沿道の景観保全等に関する条例」

表 背 目 選

景観
抽出

分 実 集 条 総 付

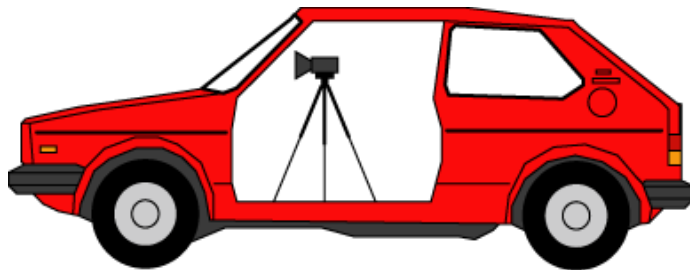
沿道景観



車内からフロントガラス越しに見える景観をビデオ撮影

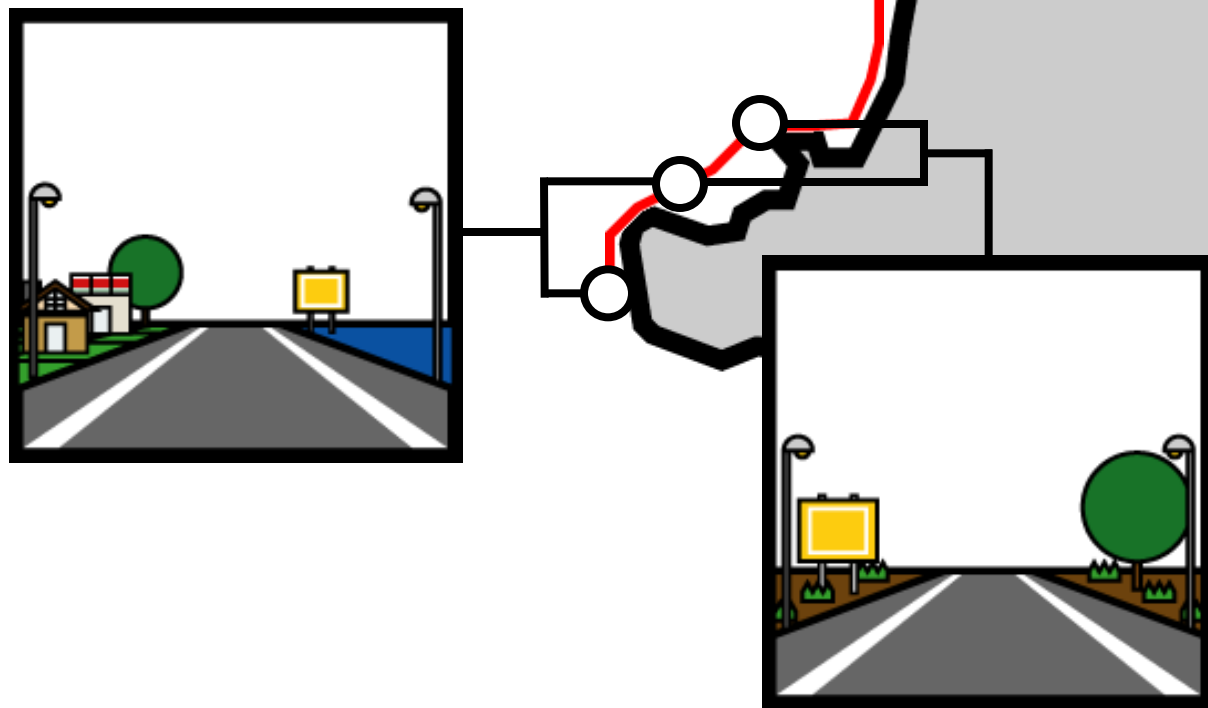


65cm 65cm



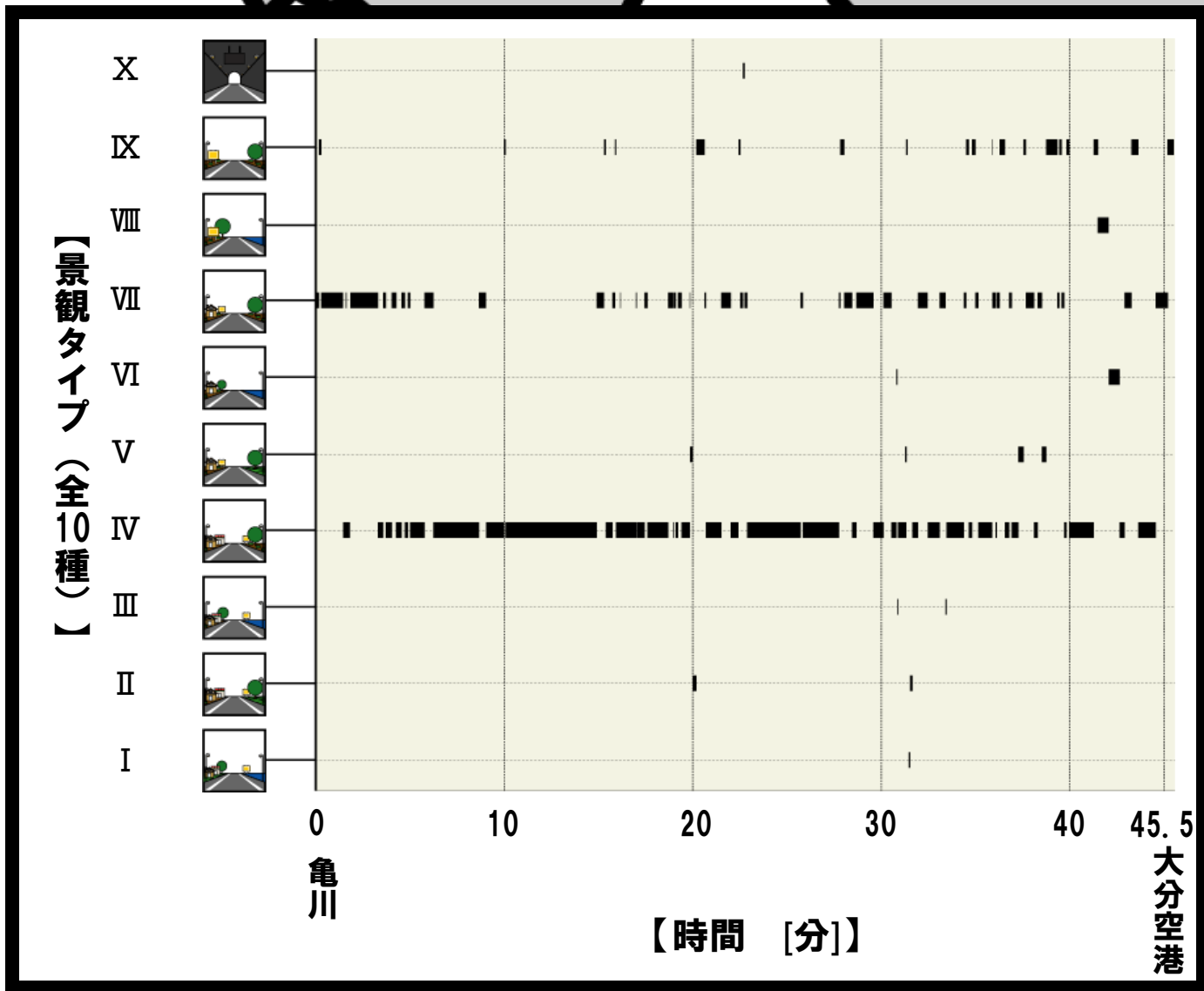
110cm



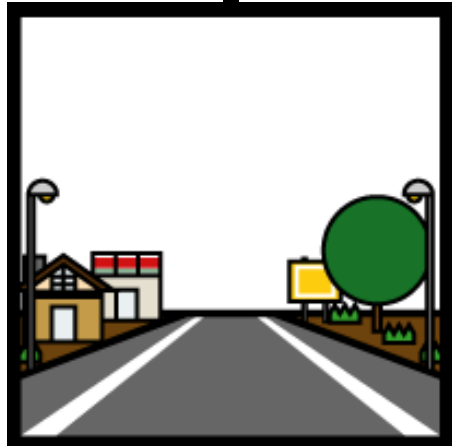


撮影したビデオをもとに、沿道景観を景観構成要素の組み合わせにより分節化
(景観タイプ)

■ “亀川・大分空港間”

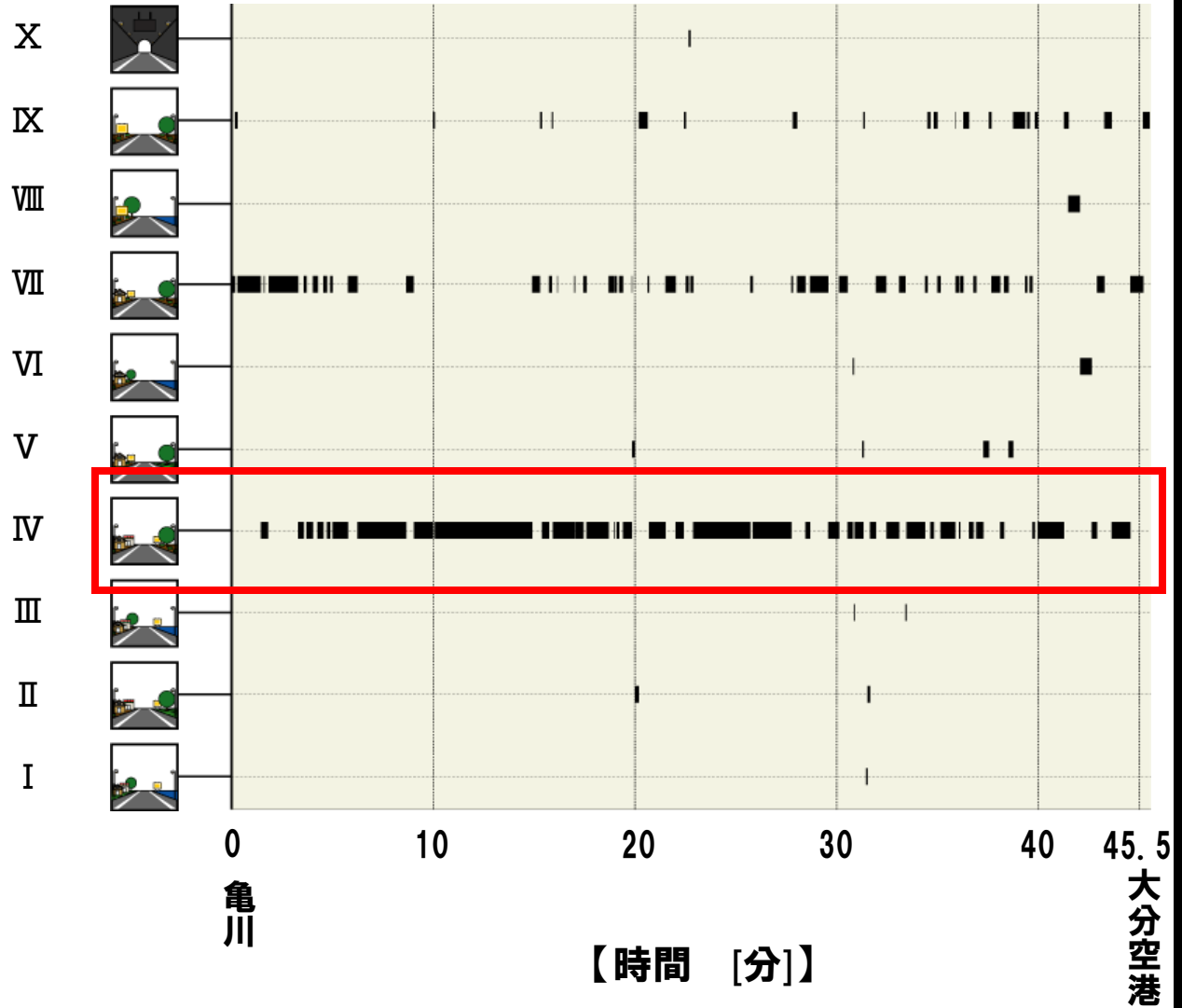


■ “亀川・大分空港間”

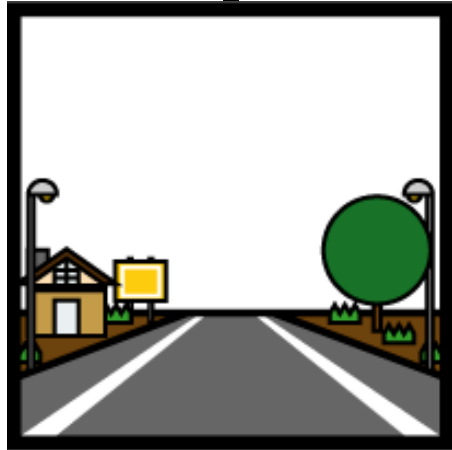


「建物・郊外型店舗・その他・緑」

【景観タイプ（全10種）】

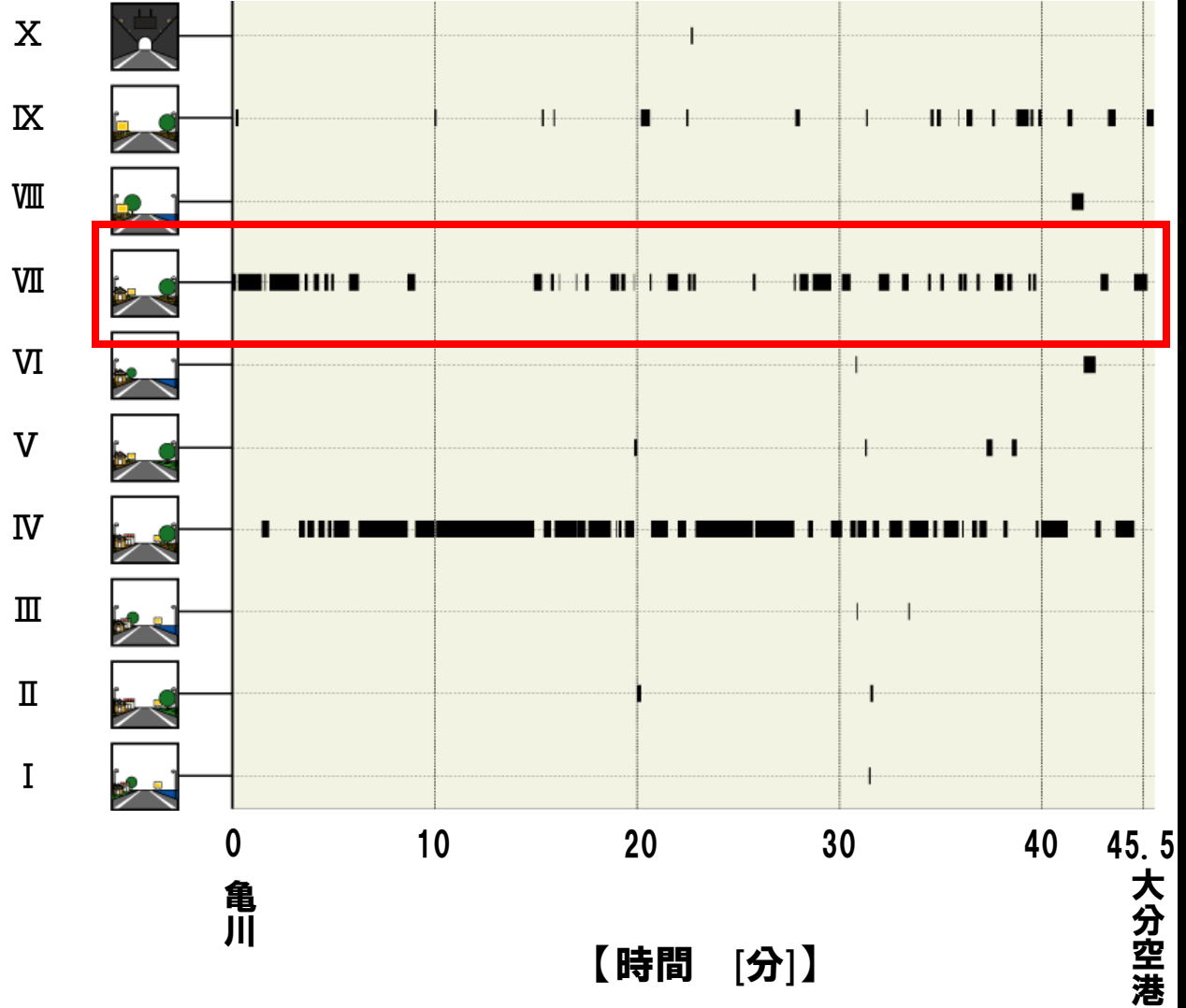


■ “亀川・大分空港間”

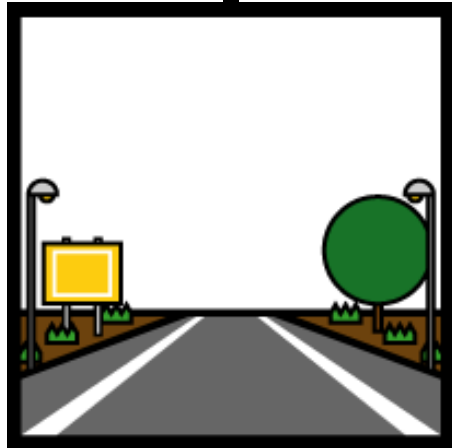


「建物・その他・緑」

【景観タイプ（全10種）】

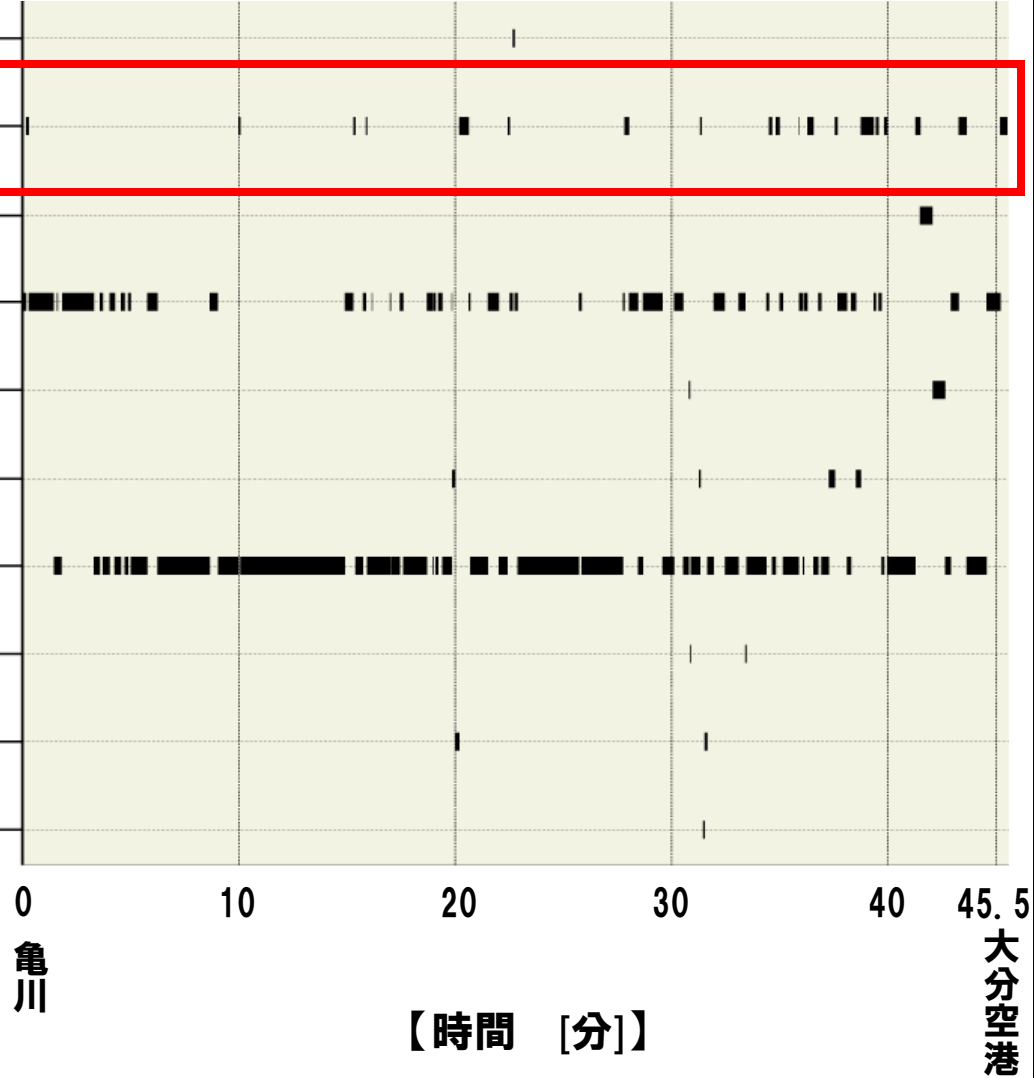


“亀川・大分空港間”



【景観タイプ（全10種）】

X
IX
VIII
VII
VI
V
IV
III
II
I



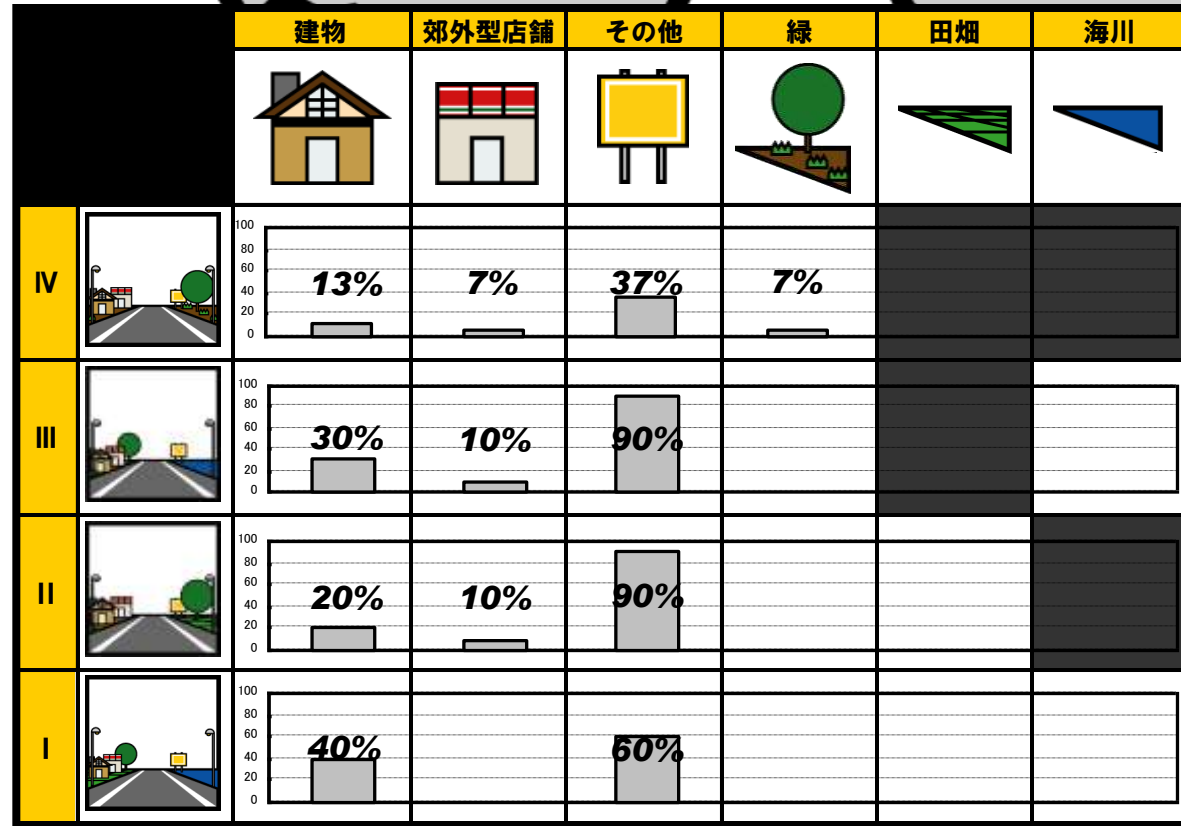
被験者に景観タイプごとの
問題点を挙げてもらう

EX



「広告物が邪魔」











■ “亀川・大分空港間”



(黒塗りは各景観タイプが含まない景観構成要素)

各景観構成要素と、その景観構成要素が問題だと答えた被験者の割合を表した図

■ “亀川・大分空港間”

		建物	郊外型店舗	その他	緑	田畑	海川
							
IV		13%	7%	37%	7%		
III		30%	10%	90%			
II		20%	10%	90%			
I		40%		60%			

(黒塗りは各景観タイプが含まない景観構成要素)

【「建物」・「郊外型店舗」を含む4つの景観タイプ】

「その他」、「建物」、「郊外型店舗」の順で、より多くの被験者に問題点であるとされている。

■ “亀川・大分空港間”

		建物	郊外型店舗	その他	緑	田畑	海川
VII		00 80 60 40 20 0 2%		50%			
VI		100 80 60 40 20 0 40%					
V		100 80 60 40 20 0 30%		75%			

(黒塗りは各景観タイプが含まない景観構成要素)

【「郊外型店舗」を含まない3つの景観タイプ】

「その他」、「建物」の順で、より多くの被験者に問題点であるとされている。

■ “亀川・大分空港間”










		建物	郊外型店舗	その他	緑	田畑	海川
X				30%			
IX				40%			
VIII				100%			

(黒塗りは各景観タイプが含まない景観構成要素)

【「建物」・「郊外型店舗」を含まない3つの景観タイプ】

「その他」のみが問題点とされている。

■ “亀川・大分空港間”

建物	郊外型店舗	その他				緑	田畑	海川	
									
建物の存在 建物の色 建物の高さ 建物の劣化 周囲との違和感	店舗の存在 店舗の色	看板の存在 看板の色 看板の高さ 看板の過剰な装飾 看板の乱立	鉄塔の存在	電線・電柱の存在 ガードレールの陳腐さ フェンスの存在 標識の存在 標識の色	標識の多さ 手摺りの劣化 街灯が存在 カメラ用骨組みの存在 信号が存在	トンネル内の暗さ 歩道橋の色 歩道橋の圧迫感	雑然とした草木 木が視界を遮っている 周囲との違和感	—	—

各景観構成要素に対する具体的な問題点



「大分県沿道の景観保全等に関する条例」の問題点を明らかにする

■ “亀川・大分空港間”



[問題点]

- 建物の存在
- 建物の色
- 建物の高さ
- 建物の劣化
- 周囲との違和感

-
-
-
-

[本条例における問題点]

- 大規模建築物以外の建物が対象外
- 〃
- 壁面後退によりのみ対応
- メンテナンスに関して触れられず

※大規模建築物：高さ13m又は建築面積500㎡超

■ “亀川・大分空港間”



[問題点]

店舗の存在
店舗の色

[本条例における問題点]

「郊外型店舗」と「建物」の区別がない



「建物」と同様

■ “亀川・大分空港間”



その他

(広告物)

[問題点]

看板の存在

看板の色

看板の高さ

看板の過剰な装飾

看板の乱立



■ “亀川・大分空港間”

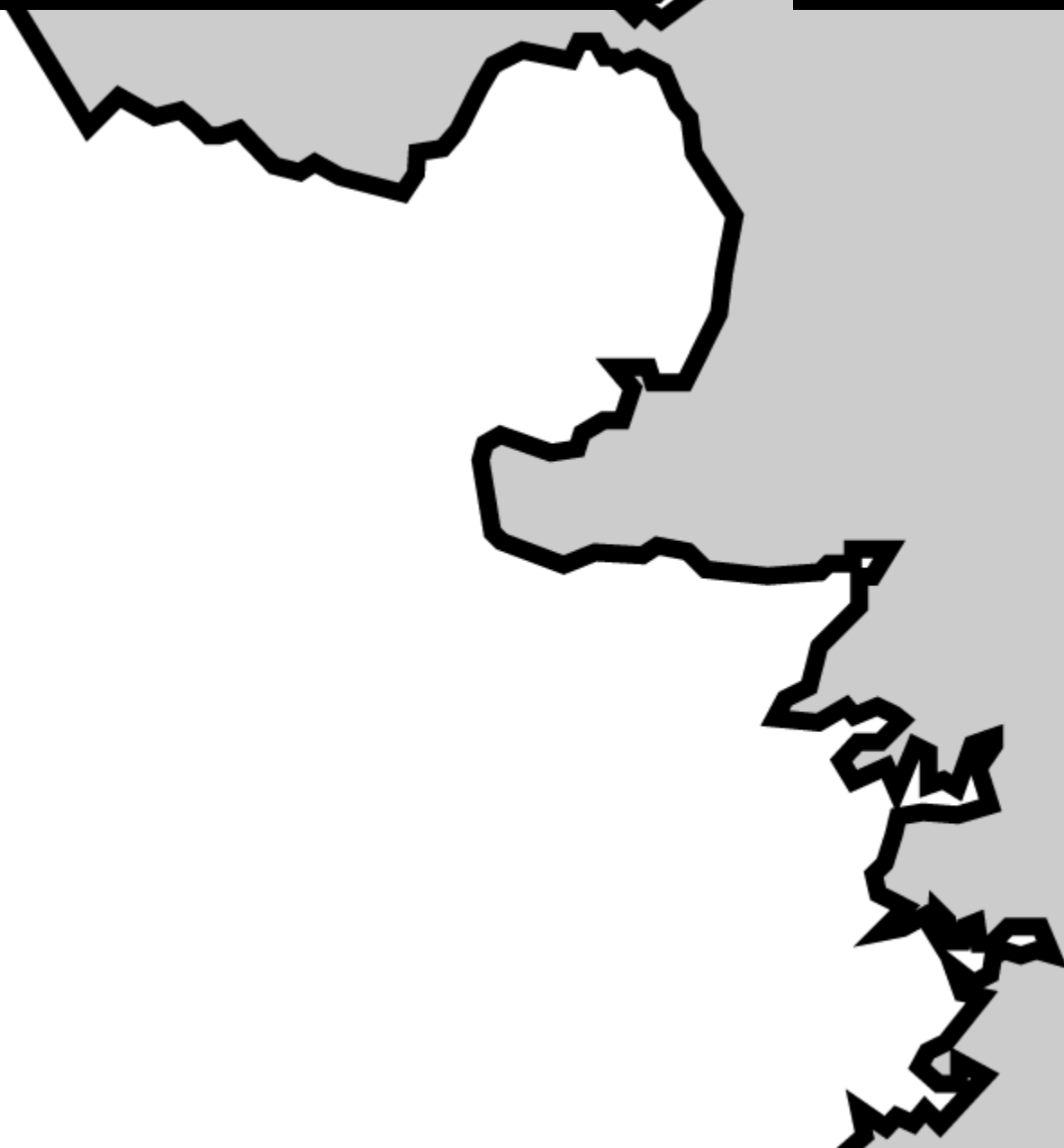


その他

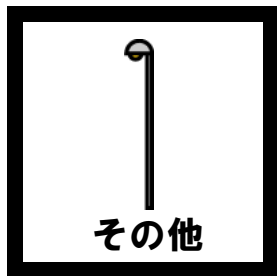
(鉄塔)

[問題点]

鉄塔の存在



■ “亀川・大分空港間”



(交通設備)

[問題点]

- 電線・電柱の存在
- ガードレールの陳腐さ
- フェンスの存在
- 標識の存在
- 標識の色
- 標識の多さ
- 手摺りの劣化
- 街灯の存在
- カメラ用骨組みの存在
- 信号の存在



■ “亀川・大分空港間”



(道路横断物)

[問題点]

トンネル内の暗さ
歩道橋の色
歩道橋の圧迫感

[本条例における問題点]

いずれも本条例の対象外



■ “亀川・大分空港間”



[問題点]

雑然とした木々
木が視界を遮っている
周囲との違和感

[本条例における問題点]

- メンテナンスに関して触れられず
- ”



■ “亀川・大分空港間”



[問題点]

なし

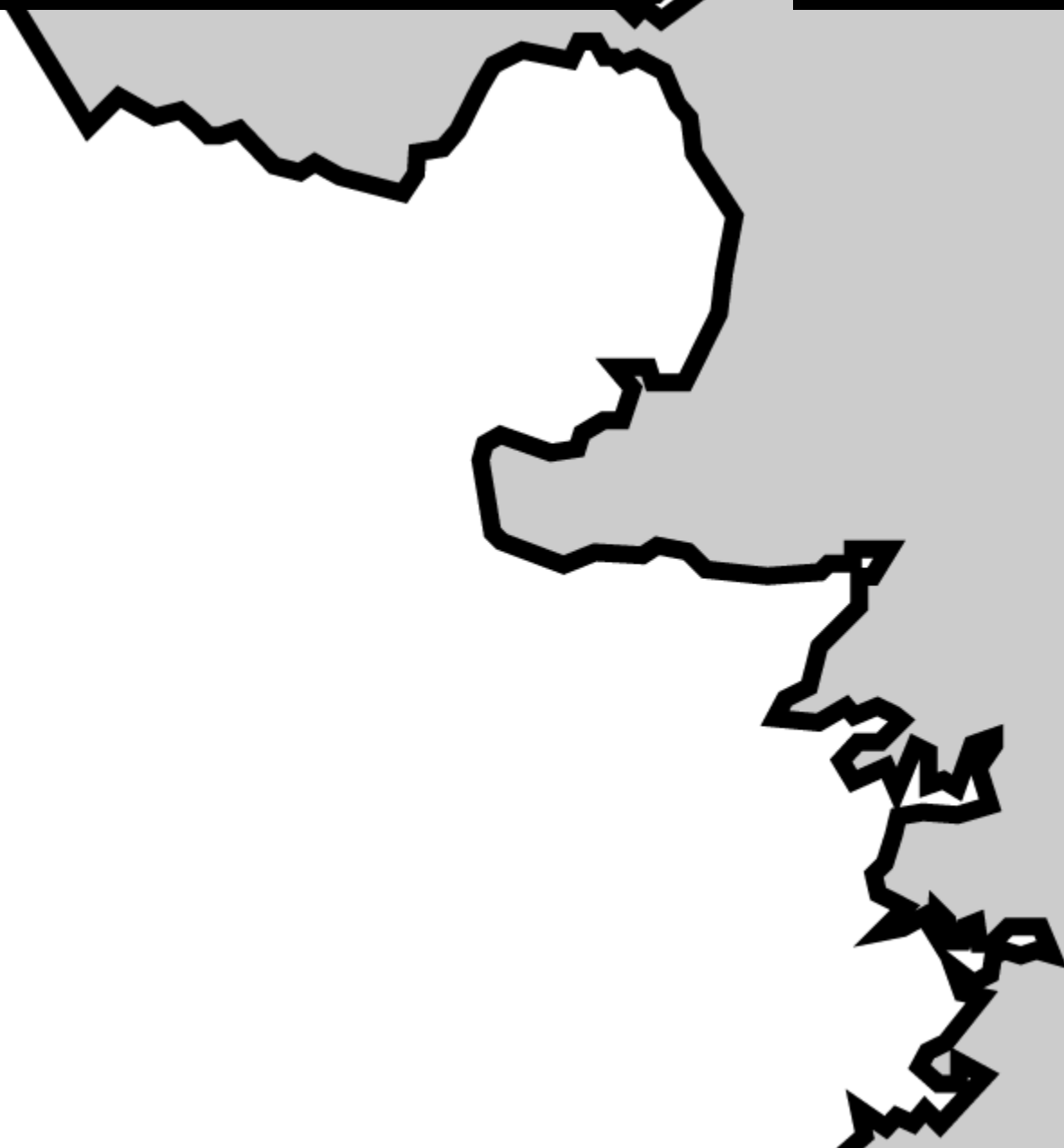


■ “亀川・大分空港間”



[問題点]

なし



■ 「大分県全域における景観の研究」

- ・ 大分県各地における景観抽出のためのアンケート調査の結果、抽出した景観は、自然景観：53%、人文景観：33%、歴史的景観：10%、その他：4%

■ 「特定地域における景観の研究」

- ・ “亀川・大分空港間” は景観タイプが10種、107区間に分節化された
- ・ 各景観タイプにおける問題点を抽出し、「大分県沿道の景観保全等に関する条例」のあり方を探ることができた。

表 背 目 選 抽 分 実 集 条 総 付

“亀川・大分空港間”

	分節区間数	景観タイプ数	各区間の平均時間	各区間の時間 (最大)	各区間の時間 (最小)	総VTR時間
大分類	107	10	0分26秒	2分59秒	0分01秒	45分30秒
中分類	166	21	0分16秒	1分58秒	0分01秒	
小分類	226	79	0分12秒	1分31秒	0分01秒	

“大分空港道路及び日出バイパス”

	分節区間数	景観タイプ数	各区間の平均時間	各区間の時間 (最大)	各区間の時間 (最小)	総VTR時間
大分類	34	3	0分39秒	4分15秒	0分02秒	22分00秒
中分類	101	12	0分13秒	1分52秒	0分01秒	
小分類	138	41	0分10秒	1分01秒	0分01秒	

“守江湾地区”

	景観タイプ数
大分類	8
中分類	15
小分類	41